憲法に基づく基本的人権を尊重しゆったりとした暮らしの中で一人ひとりが豊かに過ごせる居場所を目指します

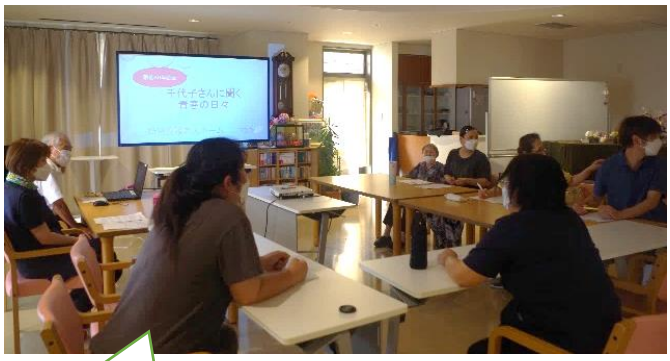
わかば新聞

2025年
8月号
NO.120

T子さん102歳、青春を語る

8月7日（木）、わかばの戦後80年企画として、戦時中のお話をわかば利用者T子さんに聞かせてもらいました。御年102歳になられた利用者さんは、終戦時22歳。旦那さんの兵役の最中の休暇のときに結婚され、終戦当時旦那さんはまだ兵役に行かれていたとのことでした。

戦時中の勤労奉仕の話や女学校への登校時の話など興味深い話題をたくさん披露してくださり、パワーポイントで写真を見ながら話が尽きず職員も話に聞き入り平和の大切さについての再認識をさせられ有意義な時間を過ごさせていただきました。



T子さんのお話に聞き入る職員

和歌山の空襲～中之島に嫁いでいましたが、疎開していた実家の紀伊の山の上の家から和歌山の街や婚家が焼けるのを（特長がある建物だったのでわかったそうです）茫然と眺めていたそうです。

T子さんは脚力がとても強い方です。お風呂介助でも片足で立ち、もう片方の足の裏を介助なしでご自分で洗えます。こんな１０２歳いないよ！と職員も驚きです。

今回お話を聞いてその理由がわかりました。T子さんは紀伊の家から田井ノ瀬まで歩き、そこから電車で粉河の女学校まで通っていたそうです。また和歌山市内の洋裁学校にも歩きと電車で通っていたとのこと。

乗用車が一般的でなかった時代。ひたすら歩いて歩いて鍛えられたんですね。

T子さん直筆の暑中見舞いはがき。達筆です！

特別養護老人ホーム
わかば

〒640-8390　和歌山市有本140
ＴＥＬ（073）475-0015ＦＡＸ（073）475-0016
HPｱﾄﾞﾚｽ http://www.nijiwakaba.com/　※「にじわかば」で検索